

**答**

現在、国における空き家対策として、臨時国会に空家等対策の推進に関する特別措置法案が提出される見込みとなっている。この空き家対策は、市の政策努力によって対応可能な部分もあると考えており、内部組織を作り、先進自治体の取組を研究しながら、具体的な空き家対策を進めたいと考えている。空き家の放置は迷惑行為と考えており、条例の制定や、空き家撤去費用補助制度の導入については、有効な空き家対策であるため、今後、検討していきたい。

**高齢者ボランティアポイント制度の導入は？**

**問**

高齢化が急速に進展する中、高齢者が安心して暮らせる地域社会を作り上げていくことが重要な課題となっている。他の自治体では、65歳以上の高齢者が地域のサロンや介護施設などでボランティア活動を行った場合に、自治体がポイントを付与し、たまったポイントに応じて商品との交換や換金、介護保険

料の支払いに充てるなど、高齢者の介護予防支援策に取り組んでいる。本市においてもこのような高齢者ボランティアポイント制度を導入してはどうか。

**答**

高齢者ボランティアポイント制度については、平成19年度に東京都稲城市が実施した介護支援ボランティア制度を皮切りに、平成26年1月現在で約200の自治体を実施しており、今後増加していくものと認識している。

高齢化が急速に進展する中、ポイント制によるボランティア制度は、高齢者の社会参加や生きがいづくりの場を確保するための一つの手段であり、本市においても、今後、介護保険制度の改正や、県内の動向を注視しながら検討を進めていきたい。



会派に  
属さない議員

一般質問

疑問が残る

JR四国の安全管理体制

**問**

JR予讃線「六反地踏切」周辺においてレール固定用ボルトのナットが脱落していたことについて、市に対して、JR四国へ現場の脱落状況を説明し、「直ちに重大事故につながるものではない」との認識を改め、レールなどの総点検と安全に対する認識を改めるよう申し入れすることを要請した。

その後のJR四国から市長への回答には、安全軽視、非常時の即応体制の不備など、公共交通機関として安全上の重大な疑問点がある。鉄道周辺の住民及び乗客の安全を真剣に考慮するならば、JR四国に疑問点の是正を求め、更に国土交通省に調査を申し込むべきではないか。

**答**

JR四国本社に確認したところ、「運行上の異常を発見した場合は、早急に補修する体制を取るとともに、鉄道周辺の住民をはじめ、鉄道利用者の安全性を第一に考えた対応を行う」との回答があった。市内には7つの駅があり、多くの市民が鉄道を利用して本市としても、快適性や安全性を追求した、地元で愛される鉄道であることを切に願い、いっそうの安全管理と即応体制の向上を要望していきたい。

また、国土交通省四国運輸局からは、「JR四国は安全な運転が確保されている」との報告を受けている。

業務の入札の現状は？

一般廃棄物収集運搬委託

**問**

一般廃棄物収集運搬委託業務に係る入札について、予定価格に対する落札率は、平成18年から24年は全地域平均で99パーセントを超えており、更に平成26年は、新規参入又はそれに同調する業者が参加した5地区は90パーセントであったが、残り12

地区は98・8から99・97パーセントと、極めて高い水準での落札が続いている。その現状に対する市の認識及び原因について問う。

**答**

現在、地方公共団体に以外の方に一般廃棄物収集運搬業務を委託する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第4条第5号の委託基準「委託料が受託業務を遂行するに足りる額であること」に基づき、適正な予定価格を設定し、現在は事前公表を行い、入札を実施している。

落札率が高いことについては、設計の段階で稼働率なども加味した綿密な設計をしている結果であると考えている。



ごみ集積所